

「2023 政策学部・総合政策科学研究科ハンドブック」の訂正について

2023年4月3日

下記の通りの訂正箇所がございますので、ご確認ください。

●訂正箇所:44ページ

中島恵理先生(講義・演習・少人数クラスについて)

<訂正内容>

<p>【学部科目】 政策トピックス ソーシャルインクルージョン、地域循環共生圏、環境福祉の実現、住民参加のまちづくりなど地域を活性化し、SDGsを実現する先進的でワクワクするような事例などを学びます。また、学生のみなさんでチームを形成し、まちづくり事例の成功要素の分析や政策提案を検討するグループワークを行い、ソーシャルイノベーターに必要な知識を習得します。</p>	<p>担当科目ではないため削除</p>
<p>アカデミック・スキル 社会問題解決に取り組む社会起業家の活動に着目し、起業家へのヒアリング調査を通じて分析力を高めることを目的とします。調査にあたっては、政府系金融機関である日本政策金融公庫西陣支店との協働で実施します。特に、「環境、経済、社会福祉の統合的向上を実現するSDGs」や「多世代共創」をテーマに人選を行います。小グループでディスカッションを行い、研究アウトプットとしての小冊子を作成します。</p> <p>【大学院科目】 ソーシャル・イノベーション研究入門 ソーシャルイノベーション研究として、社会の課題に向き合い、その解としての新たな選択肢・提案に対する過程における変化を調査研究します。ソーシャルイノベーションの事例の研究や論文作成に有益な調査手法を学びます。また、No Code Japan株式会社等の協力を得て、授業専用のアプリを活用するとともに、グループワークにおいて、社会課題解決のための解決手法の一つとして「ノーコードアプリ」の立上げを試行します。</p> <p>ソーシャル・イノベーションの理論と技法 中山間地域における地域資源を生かした持続可能な地域活性化の事例やローカルSDGsの事例(実践者自らによる講義を含む)や先行研究を基に、ロジックモデルなど、論文作成に有益な調査手法を学びます。また、チームを作り、学生の関心やこれまでの経験を生かした「ソーシャルデザイン」(地域の課題を整理・分析し、解決方策を検討する)の試行を行い、学んだ理論を実践に生かすソーシャルイノベーターとしての学びの場を設けます。</p>	<p>科目名を修正</p>